



感謝の気持ちを表そう！

修了式(卒業式)まで、あと2週間(1週間)。いよいよカウントダウンです。7日(水)は最後の全校集会があり、「感謝」というテーマでお話しました。これは、学校教育目標「めざす児童の姿(思いやりのある子)」の「自分を支え、助けてくれる人々へ、感謝の気持ちを表すことができる。」を受けてのお話です。

「おかげさまで②」

～全校集会より～

平昌オリンピックでは、日本選手が大活躍し、今までで一番多くメダルを取りました。皆さんもテレビの前で応援したでしょう。

メダルを取ったことも素晴らしかったのですが、こんな場面も話題になりましたね。(写真：コーチやチームメート等に感謝の気持ちを表す場面)演技や競技が終わった後、このように選手同士がお互いの頑張りをたたえあう場面や、涙ぐんでコーチやスタッフの人に感謝の気持ちを言っている選手たちの姿が、たくさんテレビで流れていました。



さっきまで敵、味方に分かれ、またはライバルとしてがんばっていた人たちと、お互いよく頑張った、君がライバルだったからここまで努力できた、ありがとう、今までいろいろ支えてくれてありがとう、おかげでメダルが取れました、自分一人ではここまでできなかった、等と感謝の言葉を口にしていた選手がとても多かったです。とてもすてきなあとと思いました。

皆さんは、最近誰かに感謝の言葉を伝えたことはありますか。……ありますね。フェスティバルや集団下校でお家の人や地域の方々に感謝の言葉を伝えました。他にお礼を言う人はいませんか。

3月11日は、7年前に東日本大震災が起こった日です。7年経った今でも自分の故郷に帰れず、仮設住宅に住んでいる人たちがいます。また、家がなくながらんとした町、草ぼうぼうになって使えなくなった学校があります。当たり前の生活ができない人がたくさんいます。つまり私たちが当たり前と思っている生活は、とてもありがたいことです。

皆さんがあたりまえに生活できるのはなぜでしょうか。朝起きてから寝るまで自分の生活を思い浮かべてみましょう。ごはんをつくってくれるお家の人、見守りをしてくださる地域の方々、スクールバスの運転手さん、勉強を教えてくれる学校の先生、いつも一緒に遊んでくれる友達、……などなど。

1年間無事に過ごせたのは、たくさんの方々に支えてもらっているということに気付くはずですが、3学期も残り少なくなりましたが、その感謝の気持ちを「ありがとうございます」の言葉や元気なあいさつで表して締めくくりをしてほしいと思います。感謝の言葉をかけてもらおうと、人はとても元気になるます。嬉しくなってまた頑張ろうという気持ちになります。



3月は自分の成長を確かめ、自分を支えてくれた人たちに感謝をする月です。この1年間で自分のどんなところができるようになったか、がんばったかを確かめてください。そして自分が1年間がんばってこられたのは誰のおかげなのかをよく考えて、お世話になった方々に感謝の気持ちを表してほしいと思います。

「あさって(3月11日)は、東日本大震災発生から7年」 死者・行方不明者合わせて1万8432人という未曾有の災害が発生して早7年。今なお、避難している人が約8万人もいます。犠牲になった方々のご冥福と、東北地方の一日も早い復興を祈り、発生時刻(14時46分)に黙とうを捧げましょう。